

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

<https://www.j-kana.or.jp/>
email: info@j-kana.or.jp



9

September , 2023

vol. 446



Contents

特集 無印良品が考える空間づくり	01
建築探訪 (館銘板・標識 (サイン))	03
特集 わがまちの美術館・博物館・郷土資料館	05
理事・支部長紹介	07
常設委員長所信表明	08
賛助会だより	09
支部のページ (横須賀支部・愛川支部・伊勢原支部)	11
編集者のつぶやき (法隆寺宝物館)	14

瓦版は2021年12月よりWeb配信となりました。

特集 無印良品が考える空間づくり

第3回 個人住宅のリフォーム

株式会社良品計画 空間設計部 喜多見 智子

無印良品では2020年12月から限定店舗でリフォームを承っています。

・受け継がれた家に住み続ける ・経年変化を楽しみながら自分らしく暮らす ・今あるかたちを活かし、住まいを改修して新しい暮らしを生み出す ・人や暮らしに合わせて住まいを改修し自分らしく住む そんな暮らし方のお手伝いがしたいと思っています。

人の身体は未知なる感覚の恩賞ではないでしょうか。持って生まれた身体感覚を総動員して世界を味わっていくことは、人に許された豊かさだと思います。地球に存在する鉱物、植物、生物、それらが入り混じってできた土や砂は地球の手触りや生命の肌触り。古来人の住まいはその感触が味わえる場そのものだったと私は思います。私たちに、それを伝える素材、それこそが「木」「金」「土」だと考えます。身体が喜びを感じる「木」「金」「土」を用いて、地球の生命を感じる暮らしをご提案します。

1983年に誕生した無印良品の青山一号店は、レンガ壁に、木製棚、植物繊維で編まれた籠が並んでいました。

2019年に開業したMUJI HOTEL銀座のフロントには100年前に敷かれた東京を走る電車の敷石が用いられています。無印良品のいたる店舗で素材の声聞こえます。無印良品は、素材の声を住まいに届けるために、リフォームにおいても、この身体が喜びを感じる素材を使用します。

1

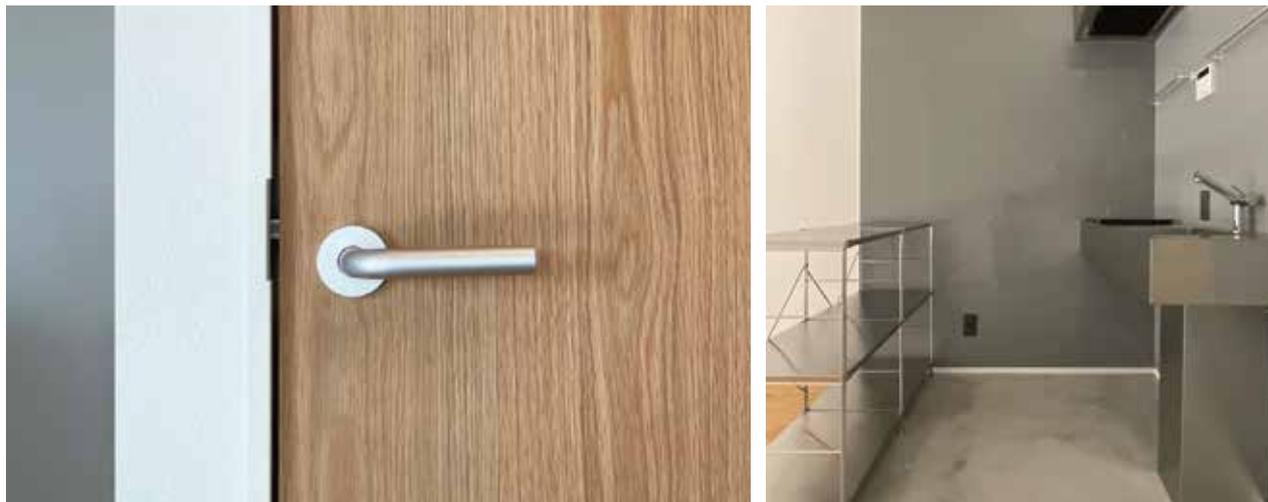
素の材料から暮らしを考える

ご存じのように木は伐採した後も変化します。時には反り、時には割れます。それは自然と共に呼吸しているためです。製材されていても、木は、適度なメンテナンスで艶がでますし、しっとりとした触り心地が戻ります。節や斑のような木が持つ個性を、自分だけの一点ものの美として受け入れ、木材を育てていく過程を生活に取り入れ楽しんでいただきたい。

そんな暮らしが楽しめるように、私たちは「木」を取り入れようと考えています。



真鍮をただの金色の金物ではない事をみなさんにご存じかと思います。しかし真鍮が予想もつかない育ち方をする事をご存じの方は少ないかと思います。良く触るところが案外艶を保ったり、綺麗に磨いた真鍮はすぐに曇ったりと、真鍮はわがままな金属です。でも「わがままな子ほどかわいい」そういう気持ちもありますよね。金属を使いたい理由はそんな心からやってくるのだと思います。もちろん再生可能な鉄、木材と相性の良いアルミやトタンも素の材料として取り入れようと考えています。



地球に触れるとは地面を踏みしめる事だと私は思います。地面、つまり土を掘れば地球の中身が出てきます。どこの土でも、壁の材料にする事が出来るそうです。南九州のシラス壁や京都の聚楽壁は有名ですが、有名産地で取れた土でなくとも土壁を作る事が出来ると知った時は、新しい発見に心が躍りました。家の中に土を取り入れるということは、まさに地球と共に生きる事です。土の呼吸と共に呼吸する家。そんな地球大の家に住むことの醍醐味を味わうためにも「土」を取り入れようと考えています。

2



一人ひとりの「これでいい」

「これがいい」ではなく「これでいい」

家づくりは、お客様自身が自問自答する時間も大切だと思っています。個室にこもる生活を望んでいるのか、照明の高さはそれでいいのか、そもそもそこに壁は要るのか、など、一緒に考え抜き、理性的な満足感で選んだ「これでいい」を形にするのがわたたくしたち無印良品。本当に必要なものを本当に必要な形で作る。これが無印良品のリフォームです。

館銘板・標識（サイン）

サイプラス
株式会社SAIplus建築設計事務所 仙波 弦

普通に外出する事が出来るようになりましたが、猛暑によって外出のハードルがむしろ上がっている気がするの私だけでしょうか。そんな中、この時期になるとオリンピックを思い出します。先日通りがかったオリンピックスタジアムとされた国立競技場を眺め、館銘板・標識（以下「サイン」という）について感心したこともあり、あらためて建物サインについて発見し、感じたことをお伝えできればと思います。



■チケット売場廻り 外観

■チケット売場のサイン

チケット売場には大きく分かりやすく、遠くからも確認できるように「TICKET」の文字があります。

外観を損なわないような色使いとサイズになっていて、バランスよく綺麗につくられている印象です。

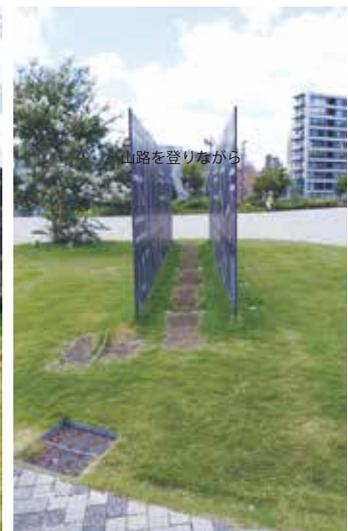
窓口の番号も同様に分かりやすくかつ外観に合うデザインになっています。木材のあたたかい色の中に白の構造体と白いサインがバランス良く配置されていると感じました。

3

■秩父宮記念スポーツ博物館のサイン

建物の一部に設けられている記念ギャラリーのサインは、少し基調を替えて上品な印象を与られています。

基調の違うものを混ぜることは難しいと思うのですが、色調を合わせて、違和感がなく仕上げられていました。



■建物名のサイン

館銘板は建物の顔である館銘板（館名格子）ですが、おもしろいのは、通りたくなるように、通り抜けできるように空いていて、皆が通り抜けるのでしょ、芝が剥げています。

単に建物の名前を表示するのではなく、何となく親しめるような形になっているのは良いなと感じました。



■ユニバーサルデザインとサイン

こういった標識や表示はオリンピックでのピクトグラムのパフォーマンスでも注目されましたが、誰にでも理解しやすい、一目でわかるなど、ユニバーサルデザイン化しています。目的を考えれば当然かもしれませんが、道路標識なども一目でわかる必要があるので分かりやすいと言えば分かりやすいですが、面白味はありませんね。

しかし、まだまだ分かりにくいものや、目的が良く分からないサインも多くあり、それはそれで考える事にもなるのですが、魅力が少なくなっています。

国立競技場のサインのようにその建物をより引き立たせるようなサイン計画ができるように精進していきたいと思います。

また機会があればおもしろいサインや、トイレのサインだけをたくさん並べてみて、比較するといった事が出来ればまた新たな発見があるかもしれません。

■現在位置のサイン

「あなたはここにあります」

裏表がハッキリとは無い建物でこれは必要だと感じました。

どこにいても同じような景色になりますので、今どこにいるか分からなくなりそうです。そんな状況では「現在位置」でもよいですが、こちらの方が共感できますね。



■ここはEエリアです

■現在位置のサイン2

このように全体の中でどこにいるかを直ぐに理解できるように各所に工夫がされていました。

こういった配慮は当然に必要な事なのかもしれませんが、心配りとかおもてなしといった日本らしさの表れではないかと私は感じました。



■Eエリアは65m先です

■国立競技場

所在地：東京都新宿区霞ヶ丘町10番1号

延面積：約19万2049㎡

設計：大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体

施工：大成建設株式会社

開場：令和元年12月21日



特集 わがまちの美術館・博物館・郷土資料館

原鉄道模型博物館

横浜支部 アメジスト建築設計 一級建築士事務所 小河 泰隆



「原鉄道模型博物館」は、横浜駅東口ポルタから徒歩5分ほど、横浜三井ビルディング2階にあります。「原」とは原信太郎氏（1919-2014）を指し、原氏は日本では屈指の鉄道模型愛好家であり、かつ鉄道模型作りの達人とされています。取材した時期が夏休み期間ということもあり、子供の姿が多く目につきました。

館内に入ると始めは展示室が数か所あり、日本や海外の古い鉄道の模型展示、鉄道の歴史、自身で制作した模型についての様々な説明や解説が展示されています。それらを通るとメインの大ジオラマ展示室になります。

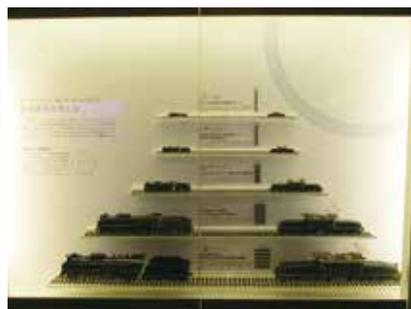
大ジオラマ室はさすがに迫力があるジオラマの世界が展開しています。鉄道模型としてはかなり大型な車両が様々に走っていて、迫力が伝わってきます。一般的な鉄道模型はNゲージという1/150程度の小さなスケールですが、展示は一番ゲージという1/45程度のかなり大きいスケールになり、Nゲージとは迫力が違います。

海外の車両の展示が数多いので、日本とは違う車両の外観を楽しむこともできます。

最後の展示は横浜ジオラマという現在の桜木町駅付近を模したジオラマで、明治5年に新橋-桜木町が開業した日本の鉄道の歴史の出発点の展示です。

日本の鉄道151年の歴史を鉄道模型という分かりやすい素材で伝える展示は、横浜の地に鉄道模型博物館があることの意味を大きく伝えてくれていると思いました。

さらに原氏個人の鉄道に対する情熱と執念を肌で感じることができ、とても楽しい気分になれる博物館でした。



5

【住所】〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島一丁目1-2 横浜三井ビルディング2階

【開館時間】10:00~17:00（最終入場16:30）

【休館日】火、水曜日、年末年始、保守点検期間（休館日が祝日の場合は開館して翌営業日が休館）

【入館料金】一般個人1,200円、中高生900円、4歳~小学生600円（土日祝ハイシーズン100円増し）

※チケットはeプラスまたはファミリーマート内マルチコピー機からの購入に限る（博物館での発売なし）

【駐車場】なし

【アクセス】JR及び各線「横浜」駅東口ポルタG階段から徒歩約5分

みなとみらい線「新高島」駅2番出口から徒歩3分

【WEBサイト】<https://www.hara-mrm.com/>

横須賀美術館

横須賀支部 戸井田設計 戸井田 顕

横須賀美術館ができたときは「すごい美術館が地元でできた」と驚きましたが、開館は2007年なので、もう15年以上が経ってしまいました。今でも、定期的に訪れますが、歩き回るのがとても楽しい美術館です。美術館の前の広場はいつも子供が遊んでいますし、どこを歩いていても孔から美術館の中の様子を感じることができます。また観音崎公園に半分埋まるように作られていて、建物の屋上にあがると、そのまま真っすぐ公園に行けるのも大きな特徴だと思います。



6

【場 所】 神奈川県横須賀市鴨居4-1

【開館時間】 10時～18時

【休館日】 毎月第一月曜日（ただし祝日の場合は開館）12月29日～1月3日

【所蔵品展の観覧料】

一般 個人：380円（税込）

高校生・大学生・65歳以上の方：280円（税込）

中学生以下：無料

※20名以上の団体は団体料金有。

※企画展の観覧料は展覧会によって異なる。

【展示予定】

2023年7月1日（土）- 2023年9月3日（日） new born 荒井良二

2023年9月16日（土）- 2023年11月5日（日） ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき

2023年11月18日（土）- 2023年12月24日（日） 躍動する韓国イラストレーションの世界

【WEBサイト】 <https://www.yokosuka-moa.jp/>

理事・支部長紹介

● 理事

支部名	氏名	事務所名
横浜	平山 正義	(株)アーキテクト・アソシエイツ・ ヨコハマ一級建築士事務所
横浜	山口 英生	港設計一級建築士事務所
横浜	古室 大悟	(有)古室建築設計事務所
横浜	白川 幹	(株)白川設計
横浜	有泉 絵美	(株)空間設計パートナーズ一級建築士事務所
横浜	鈴木 武昭	(株)エスシー・テクニカ
横浜	名和 靖晃	(株)トライアングル一級建築士事務所
川崎	永島 優子	一級建築士事務所(有)ノマド
川崎	鈴木 與	(株)神奈川建築事務所
川崎	長友 寛昌	長友建築研究室
横須賀	古谷 雄一	(有)雄設計室
湘南 三浦	高橋 康	二級建築士事務所(有)ニッペイ
藤沢	大和田 優	DAITOC一級建築士事務所
藤沢	横山 尊重	建築総合企画ジーボックス一級建築士事務所
鎌倉	福田 亮一	(有)建都
平塚	田中 正幸	全農かながわ一級建築士事務所
秦野	矢野 高	矢野建築事務所
海老名	小松 正道	(株)マイ建築構造
厚木	奈良 直史	奈良なおし改修設計一級建築士事務所
座間	伊藤 耕人	耕一級建築士事務所
相模原	杉本 勝郎	スタジオアートクリエイター一級建築士事務所
相模原	佐藤 眞吾	一級建築士事務所眞設計室
県西	山口 雄	(有)山口建築事務所
県西	松井 正	(株)マツイアーキテクトコンサルタント

● 支部長

支部名	氏名	事務所名
横浜	小澤 勝美	(株)ユー・アール・ユー総合研究所
川崎	岩田 崇	(株)多摩設計
横須賀	小泉 厚	(株)アスデック建築事務所
湘南 三浦	石渡 規由	拓建築設計工房
藤沢	近藤 敦司	近藤敦司建築設計事務所
鎌倉	矢澤 正明	一級建築士事務所 アトリエアテネ
茅ヶ崎 寒川	瀬川 政仁	(株)瀬川建築工房一級建築士事務所
平塚	黒部 光司	黒部設計事務所
秦野	小泉 学	(株)コイズミー一級建築士事務所
伊勢原	内田 幸夫	一級建築士事務所(有)内田工務店
大和 綾瀬	小幡 剛志	(有)徳豊設計
厚木	高橋 学	山王建設(株)
座間	吉田 将也	(株)エフプランニング
海老名	熊井 貴之	(株)フック設計
愛川	中山 裕次	(株)中山工務店一級建築士事務所
相模原	新村 玲子	(株)RAN企画設計
県西	山口 雄	(有)山口建築事務所

● 専務理事

支部名	氏名	事務所名
	酒井 弘幸	(一社)神奈川県建築士事務所協会 事務局



常設委員長所信表明

総財務委員会 古谷 雄一



次世代の建築士が建築士事務所に入ってこない現状を危惧しています。

現状を変えるには、もっと県民に我々の職能を理解してもらい、人々の生活の中に根付く事が必要で、その為には、

建築士事務所協会ははじめ建築士会、日本建築家協会の設計3団体がタッグを組む必要がある、そんな事を考えながら微力ですが尽力していきます。

業務支援委員会 鈴木 武昭



今期の主業務は「会員サポートセンターの開設」になります。

全てが完成した暁には、神事協は設計事務所の経営には欠かせない団体となり、会員の大幅な増強が見込めます。

しかし、これは大変な事業ですので、当委員会だけでは実現できません。

各委員会にはご協力をお願いします。
神事協全体で実現して行きましょう！

広報情報委員会 白川 幹



はじめまして、広報情報委員会 委員長を仰せつかりました白川 幹です。

広報情報委員会では市民県民・行政等へSNSなどを用いた情報発信の企画、実施及び管理運用を目的に据え、現在非公式ではありますがTwitter(X)の運用等を模索して参り、今後も多角的なSNS等への展開を検討して参ります。

また今年度は会員サポートセンターの開設を必達目標とし鋭意取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

ブロック支部委員会 横山 尊重



前委員長の平野様からご指導いただき引継ぎました、委員会4つの柱(地引網大会、スポーツ大会、しごと展、新規開設者講習)を着実に運営させて頂き、会員の皆様との交流・会員の皆様のメリットにつながるお手伝いが出来ればと思っております。

各ブロック・各支部の垣根を超えたつながりが会員の皆様に来ることを期待しております。

指導委員会 松井 正



2023年度から2024年度の指導委員会の委員長を拝命いたしました県西支部の松井正と申します。直近までマンション等の大規模修繕業務特別委員会の副委員長を務めていました。

中枢を担う委員会の委員長は身の引き締まる思いです。私自身が非常に有益と感じている当委員会が主催する建築物等調査・鑑定業務登録事務所の必修講習会等をはじめとする魅力ある委員会活動を、より多くの会員に周知頂けるよう活動していきたいと思っております。

青年部会運営委員長 有泉 絵美



青年部会に属する方々に共通すること、それは「ほやほや」。

事務所開設、子育て等、公私ともにデビューが多く経験も少ない中、試行錯誤の日々を過ごす方々と思います。

この時期に出会う仲間は、一生の友になると先輩方より感じます。公私ともにヒントを得られる場が青年部会！楽しみながら素敵な仲間を見つけ、広げていきましょう。

賛助会だより

ZEB・ZEHなどの省エネ対策から建物の長寿命化対策まで可能

【外壁の外断熱に出来ること】

株式会社 サンクビット 営業G 阿部 靖彦

株式会社サンクビットの阿部と申します。日頃は賛助会員として展示会の出展等でも大変お世話になり、誠にありがとうございます。弊社は建物の外壁に断熱材で覆う湿式外断熱工法を扱っております。

『湿式外断熱?』とまだ聞き慣れない方もおられると思いますので、簡単に説明させていただきます。

『外断熱』の対義語で『内断熱』という言葉があります。躯体の外側に断熱材があるのが『外断熱』で、内側にあるのが『内断熱』となります。躯体の外側に断熱材を施工する事により様々なメリットがあり代表的なものとして、省エネ効果と建物の長寿命化です。なぜ省エネ効果が出るかと言いますと、RC造の外側に外断熱施工により外気温が断熱材で抑止され、コンクリートの温度が室内に同調し、蓄熱(冷)してくれます。

室内にて生じた冷暖房などでの熱(冷)が輻射熱化し、躯体が蓄熱材となり室内温度の上下を少なくし、空調負荷低減となり省エネに繋がります。

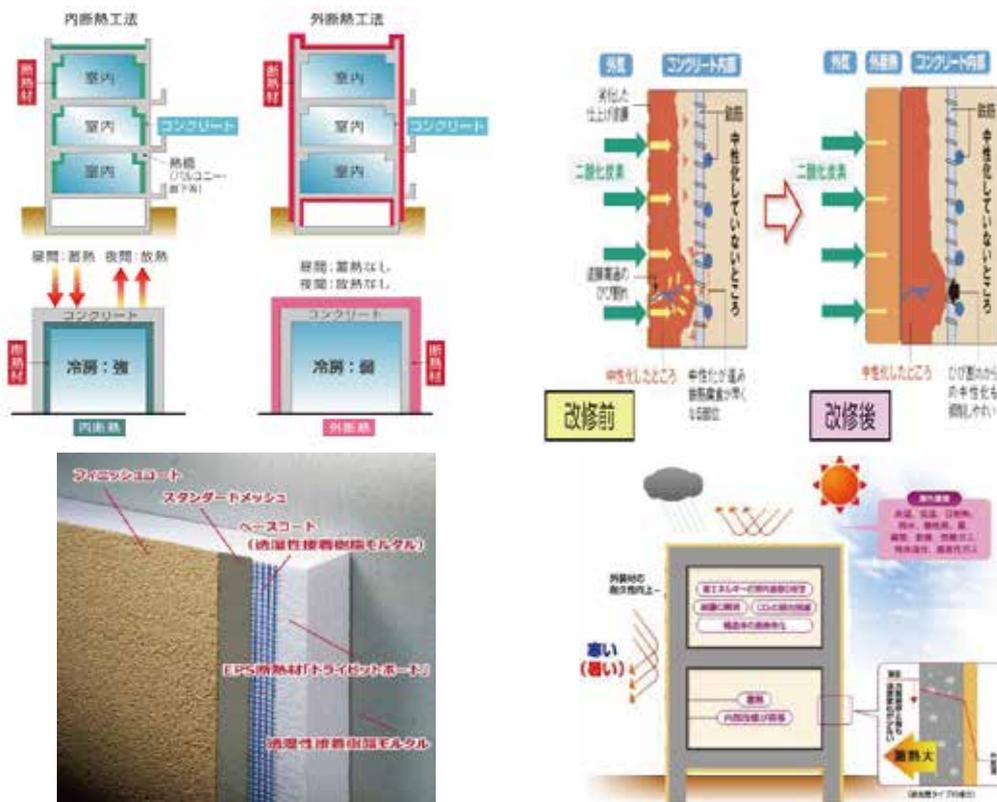
もう一つのメリットが、建物の長寿命化です。これはイメージしていただくと簡単で、躯体の外側に断熱材があるので、直射日光や外気温、二酸化炭素や酸性雨等から外壁が守られることによりコンクリートの中性化や劣化を抑制し、結果として長寿命化に繋がります。

外断熱は、断熱性能ばかりが注目されがちですが、弊社のドライビット『アウサレーション』システムは、外装材としての性能も保持しており、代表的な性能として断熱材の接着強度や仕上材の耐候性、火災時の延焼防止性能等々、各種性能試験を行い問題が無いことが証明されております。

ZEB・ZEH等の省エネ対策や長寿命化改修などご検討される際は、是非弊社にご相談頂ければ幸いです。



9



株式会社 サンクビット

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶超2-3-14フェリスビル5F

TEL:03-5256-5637

賛助会だより

環境対応型塗料「全光型光触媒SGコート」

三興商事株式会社 横浜営業所 森藤 真以

三興商事株式会社横浜営業所の森藤真以でございます。平素より屋根・外壁材をはじめとする各種取扱い商品をご採用いただき、この場をお借りして心より感謝申し上げます。創業して54年、横浜営業所は開設から9年目を迎えました。今年4月より事務所を新横浜へ移し、より多くの皆様からご満足いただける技術サービス提供を目指して所員一同日々邁進しております。

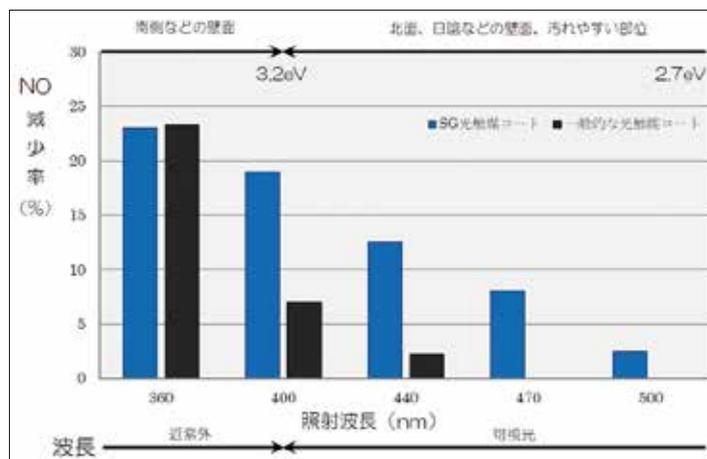


【建築材料、ご相談ください。】

建物の個性を創る屋根 **元旦ビュティ工業株式会社**
 露出型弾性固定柱脚工法 **ジャストベース**
 進化する断熱パネル **アイジーヴァンド**
 高耐候高意匠金属パネル **ミュウウォール**
 外壁を彩る神島化学の **ラムタ**
 押出成形セメント板はアイカテックの **メース**
 三次元可動 EXP.J **パラキョウア社**
 木製学校間仕切 **三和システムウォール株式会社**
 全光型光触媒塗装 **SG コート**
 体育館の鋼製床は染野の **ジム・エース**
 スポーツと健康の未来を創る器具 **Senoh**
 ステンレス製プールの **三井三池製作所**
 エコ循環型新素材デッキ **エアウェル・エコロック株式会社**

取扱い商品

さて、今回は「SGコート」をご紹介します。おかげさまで神奈川県下、特に塩害対策の必要な沿岸地域にて多くご採用をいただいているブランドです。中でも採用率No.1は特許技術を使用した「環境対応型塗料・全光型光触媒SGコート」太陽光だけでなく紫外線から可視光まで全ての光源で触媒効果を発揮する為、一般的な光触媒コートでは効果が期待できなかった北面や日陰を含めた全方位で高い防汚効果が証明されております。また、CO2削減や大気浄化機能を併せ持ち、SDGsの17ゴールの中では「13・気候変動に具体的な対策を」に該当する、地球環境保護に向けた取り組みの一つでもあります。



SGコート光触媒効果



SGコートは光触媒だけでなく、フッ素やセラミックなど、様々な高防汚性塗料を展開しております。RCフラット仕上げには、クラック防止として「炭素繊維入りモルタル・SGマイティ」を、重ねて防汚コートとして「高耐候性水系セラミック塗料・SG-S」を施工しました。美しい仕上がりを長期間に渡り維持するためのコンビネーション施工です。建物の特徴や立地条件等に応じて最適な塗料をご提案させていただきます。屋根・外壁材と併せ、是非お気軽にご相談くださいませ。

三興商事株式会社 横浜営業所
 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-12-2
 明友ビル6F
 TEL:045-577-4835

小江戸の町 金沢を旅して

ミーズ設計連合協同組合 増田 務

金沢は小江戸と言われるらしい。(小京都と思われがちだが) 加賀百万石の前田家と徳川家の縁は深い。二代将軍徳川秀忠公の次女珠姫が前田利常公の正室として嫁いだことが知られている。珠姫は14才で輿入れ、三男五女を育てたが産後の肥立ちが悪く、わずか24才で旅立たれてしまった。菩提寺は松林が美しい天徳院である。

金沢は戦災に合わず、歴史的な建造物や古くからのしもた屋が数多くあり、いまだに武家屋敷に始まり、古い町並みが残されている静寂な町である。

今回の旅の目的はまず、石川県立図書館を見ることがにある。昨年8月にオープンした仙田満氏が設計した図書館である。中に入るとダイナミックな円形の空間に驚かされ、ふんだんに使われた木材に優しさを感じ、天空からの光は訪れた人に安らぎと落ち着きを与える。あたりまえだが静寂である。巾広い円形状の廊下には本棚があり、デザインされた椅子が数多く置かれ、本の選びやすさも感じる。

普通図書館というと読書室が有るのがお決まりであるが。一人きりなれる空間、ハンモック、寝転がりながら読書が出来るなど形にとらわれない自由な空間が用意されている。

人にやさしい新しい図書館のありかただと思う。

次に向かったのが、金沢が育んだ建築家 谷口吉郎・吉生の金沢建築館である。建築館は谷口氏の生家の跡地に建てられてものである。2階には赤坂迎賓館別館洗心亭の茶室と大広間が再現され、京都の迎賓館が思いだされる。熱心なガイドの話は熱く妙に心にしみる。当然ですがガラス越しの水景は素晴らしく、水面は波立たず、まるで水鏡の様である。

付近には谷口吉生氏設計の鈴木大拙館がある。これは仏教哲学者 鈴木大拙氏の足跡を広く人々に伝えると共に、来館者が思索できる場として開設したものである。建物は小規模だが、斜面緑地を背景に石垣、水景などによって構成された、思索するには「ピッタリ」な施設である。心が落ち着くのは不思議である。

金沢市立玉川図書館、金沢21世紀美術館、金沢海みらい図書館、西田幾太郎記念館(安藤忠雄氏設計)と冬季にはライトアップされている旧陸軍の施設(現国立工芸館)などを見学した。

今回は春の様な天候に恵まれ充実した研修旅行であった。

11



石川県立図書館



石川県立図書館



夜景の工芸館



鈴木大拙館

チームあいちゃん

愛川支部は、建築基準法第12条に基づく定期報告を愛川町より(一社)かながわ建築事務所協会を通じて業務委託しています。愛川町の6事業所を支部会員6人で各事業所に報告者を配置し、現地調査はチームあいちゃんとしてみんなで協力し合っています。当初は、指摘事項に不満そうな事業所の担当者もいましたが、改善箇所の予算取り、建物のメンテナンスや防火設備等の扱い方等の丁寧な説明をし続け、現在では指摘事項の改善が進み、効果が上がってきたなど実感しています。報告者は調査に手伝ってくれた方にランチをごちそうする。これもチームワークの1つとなっています。本年度からは、町営住宅6棟の定期点検業務も委託されました。歴代から築き上げてきた信頼関係が実を結んだ賜物だと思います。



危害防止装置良好!

令和3年度から3年かけておこなっています愛川町との協働事業『地震に強いまちづくり促進事業』もいよいよ本年度で愛川町全制覇に向けて活動しています。旧耐震木造住宅と危険ブロックの塀対象者へ、夏の暑い日や山間部など、みんな汗をかいて耐震相談会のチラシの配布をしました。努力の甲斐があつてか、補助金の増額を認められ、業務へも繋がってきました。従

(株)中山工務店一級建築士事務所 中山 裕次
前の耐震相談会では相談者が0人の年もあり、行政と対策と方法を話し合い、広報誌やHPだけでなく、こちらから出向くスタイルにする…これが協働事業としての始まりでした。

- ・対象者に制度を知ってもらう
- ・相談会場を近くの集会場等にする
- ・アンケート結果を活かす

アンケートの内容からは「相談先がわからない」や「補助制度があることを知らなかった」等、大半の方が知らなかったという事を知ってもらえたということが収穫であったと思います。地味で過酷な協働事業ですが、結果が伴ってきたのも事実であり、来年度からは業務委託として今後とも進めていきたいと要請がありました。



また、平成29年に愛川町と災害時の被災建築物に関する応急支援等に係る協定書を結び、応急危険度判定士の連絡網のリーダーとして愛川支部が担っています。

今後も、神事協、県央ブロック並びに行政との連携を深め、地域に根差した活動を推進し、神事協の会員としてメリットとなる事業を展開していく所存です。

伝統技術の継承にむけて

一級建築士事務所 有限会社 内田工務店 内田 幸夫

私は、宮大工集団 内田工務店の代表を務めております。18歳で京都へ修行に行き、24歳で独立開業し、伝統建築一筋で邁進しております。100年程前までは、住宅を手掛ける大工さんでも神社仏閣の仕事もできる方は多くいられましたが現在、プレカットの普及により一般の大工さんは刻みや鉋掛けもできない方が殆どです。そのため、国宝や重要文化財の修理に携われるのは文化財建造物木工技能者の資格を持った者のみ、と国がルールを定めています。資格を取得した人は現在までに凡そ400人。そのうちで今も現場に立っているのは200人ほどでしょうか。

当社では現在、鎌倉市材木座の重要文化財 光明寺本堂保存修理の他に、本堂屋根替え工事、本堂新築工事、茶室改修工事等を手掛けております。その他に、首里城正殿新築復原工事にも応援として当社の若手社員が数名従事。首里城の現場では、全国より30名ほどの宮大工が集結し、9月半の建方に向けて、加工・刻みが進められております。

現在、当社には私の他に社員として10名の宮大工と5名程の外注宮大工が在籍しております。40代が1名、残りの9名はすべて20代という年齢構成で、そのうち4名の宮大工が大小の現場を主任又は棟梁として任されております。

宮大工も棟梁クラスとなれば、道具の扱いはもちろん、積算などの経営的知識、建築に関わる左官や美術などの伝統技術に関する知識、設計の能力まで必要となります。宮大工棟梁はその知恵と技の習得はもちろん、それらを次世代に引き継ぐ責務を負っています。日本に1300年の前の建築が変わらぬ姿であり続けているのは、

1300年の間、宮大工が弟子を育て続けて来たことの証です。

中でも日本に古来伝わる「規矩術」と呼ばれる技法は、社寺建築の美しい

屋根の曲線などを生み出す技法として親方から弟子に口伝で伝えられてきましたが、昨今、教える人、学べる機会が激減し、風前の灯火とまで言われています。当社では若手社員達が就業後に工場で規矩術の自主練習を行っています。

また、当社には神社仏閣のみならず、一般の大工さんができない変わった仕事の依頼もあります。紙面をお借りしていくつかご紹介いたします。

一つ目は、真鶴貴船神社の東西小早船の修理。三次元曲線となる山車の修理では、実測調査をし、CADでの作図、型取りが要求されました。これは、当時入社5年目の若手が棟梁を任され、二隻の船の修理をまとめ上げました。

この春には水車の依頼があり、こちらも修行5年目の若手が担当、お蕎麦屋さんの看板となる水車を仕上げました。

当社では、工務店の二代目・三代目となる若手も修行に励んでおります。現在入社7年目となるT君は今年、本堂新築工事を任されました。この現場をまとめ上げたら年季明けとなり、家業の工務店へ戻ります。どこへ出しても恥ずかしくないようにと仕込んでおります。

これからも伝統建築の継承の為、日々精進して参る所存です。



貴船神社の東西小早船の修理
彩色は日光東照宮出入業者に依頼

13



就業後に先輩達が指導し、四方転びの作業台を製作している様子



本堂新築工事の現寸引きの様子

新入会員のご紹介	
横浜支部	
帯構造一級建築士事務所 〒232-0024横浜市南区浦舟町2-22 ベイシティコート横浜310号 TEL.045-341-0446	山中 剛志
晴設計室 〒244-0001横浜市戸塚区鳥が丘42-2 TEL.045-443-8298/FAX.045-443-8298	森田 晴信
Kawamoto Seismic Design一級建築士事務所 〒233-0012横浜市港南区上永谷1-27-4 TEL.090-4695-0941-	河本 孝紀
一級建築士事務所 株式会社DAN都市デザイン 〒231-0015横浜市中区尾上町3-35 横浜第一有楽ビル2階 TEL.045-664-7363/FAX.045-228-7876	土方 碩哉
川崎支部	
株式会社TERAAS一級建築士事務所 〒248-0024鎌倉市福村ガ崎5-14-5 TEL.0467-40-6732/FAX.0467-40-6741	秋山 照夫
湘南三浦支部	
アーキラボ 一級建築士事務所 〒240-0112三浦郡葉山町堀内663 TEL.046-876-6962/FAX.046-876-6746	清水 淳
平塚支部	
Arc-Design株式会社二級建築士事務所 〒254-0073 平塚市西八幡2-3-52 TEL.0463-59-9178/FAX.0463-59-9179	二宮 綾乃
相模原支部	
みんなの支え 二級建築士事務所 〒252-0176相模原市緑区寸沢嵐644-4 エルハイム202 TEL.080-8713-2114	池田 大樹
退会者	
横浜支部	
K A I 建築設計室一級建築士事務所	吉田絵里子
株式会社irodori一級建築士事務所	一色 博貴
リノベ不動産デザインラボ二級建築士事務所	菊地 慎也
鎌倉支部	
菱栄テクニカ株式会社一級建築士事務所	原 和彦
変更	
横浜支部	
一級建築士事務所株式会社神奈川建物リサーチ・センター (所在地変更) 〒231-0023横浜市中区山下町193-1 宇佐美山下町ビル3F	
株式会社パウテックグループ (事務所名、所在地変更) 〒231-0011横浜市中区太田町4-55横浜馬車道ビル4F 旧事務所名) 株式会社パウテック	
大洋建設株式会社一級建築士事務所 (TEL変更) TEL 045-861-0631	
有限会社O. N. I 建築研究室 (所在地変更) 〒232-0051横浜南区井土ヶ谷上町23-29	
一般社団法人かながわ土地建物保全協会 (所在地変更) 〒231-0016横浜市中区真砂町2-22	
株式会社TERRAデザイン一級建築士事務所 (所在地変更) 〒230-0078横浜鶴見区岸谷3-7-21	
株式会社空間設計パートナーズ一級建築士事務所 (所在地、TEL、FAX変更) 〒231-0002横浜市中区海岸通4-23 マリンビル302 TEL.045-264-8152/FAX.045-264-8153	
賛助会入会者	
エーアンドエー株式会社	

会 勢	令和5年8月1日現在				
	支部名	令和4年4月1日	現在	入会者	退会者
横 浜	254	259	8	3	5
川 崎	107	112	5	0	5
横 須 賀	49	49	0	0	0
湘南三浦	16	19	3	0	3
藤 沢	36	36	0	0	0
鎌 倉	42	42	1	1	0
茅ヶ崎葉川	15	15	1	1	0
平 塚	21	21	0	0	0
秦 野	13	13	0	0	0
伊 勢 原	6	7	1	0	1
大和菱瀬	18	18	0	0	0
厚 木	30	30	0	0	0
座 間	11	11	0	0	0
海老名	15	16	1	0	1
愛 川	6	6	0	0	0
相模原	61	64	3	0	3
県 西	37	38	1	0	1
合 計	737	756	24	5	19
賛助会員	88	97	9	0	9

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。
※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき



法隆寺宝物館

「鏡よ、鏡 この世で一番美しいのはだあれ？」
「はい、あなたでございます。」
そう応えたのは建物の前に広がる水面。
建物が端正に映り込んでいた。
建物ファサードのガラス面からも同じ応え。
豊かな樹々が映り込んでいた。
本当に美しいのは鏡だったのかもしれない。
芸術の秋、食欲の秋
美しいもの 美味しいものを探しに出掛けよう。
美しいものを美しい 美味しいものを美味しい
と感じることは幸せなことだと思う。

(鎌倉支部 アトリエ空庵 中原 尚代)

KANAGAWA 令和5年9月号 (通号446号)

発行 令和5年9月1日 (奇数月1日発行)
 発行人 平山 正義
 発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F
 TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

- ・ 担 当 副 会 長 小松 正道
- ・ 担 当 理 事 田中 正幸
- ・ 会報誌編集特別委員長 小泉 厚
- ・ 会報誌編集特別委員 雨森 隆子 小河 泰隆 森本 和樹
- ・ 戸井田 顕 中原 尚代 仙波 弦
- ・ 杉本 勝郎 長川 勉
- ・ 事 務 局 小林 恵美



今月の表紙

相模原 中村家住宅

国の登録有形文化財として指定された「中村家住宅」は幕末頃の建造と言われている。

なまこ壁の和洋折衷住宅となっており、鎌倉の棟梁 石井甚五郎が、敷地内に住み込み10年余の歳月をかけて作り上げたと伝えられている。また正面にはこれも幕末頃に建てられた長屋門も極めて立派なたたずまいを呈している。

(表紙写真・文／杉本 勝郎)